

令和4年度第1回芳賀町総合教育会議録

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 期 日 | 令和4年8月19日(金) |
| 2 | 場 所 | 芳賀町役場大会議室 |
| 3 | 開 会 | 午後3時 |
| 4 | 出席者 | 町 長 見目 匡
教 育 長 古塚 秀一
教育長職務代理者 沼能 寿之
委 員 黒崎 厚央
委 員 塩野 由子
委 員 山口 友也 |
| 5 | 出席職員 | 学校教育課長 小林 芳浩
生涯学習課長 高津 健司
学校教育課指導主事 高橋 輝秋
学校教育課指導主事 松本 薫
生涯学習課スポーツ振興係長 中上川 了 |
| 6 | 書 記 | 学校教育課課長補佐兼係長 野沢 幸代 |
| 7 | 議 題 | 部活動の地域移行について
ふるさと教育について
成人式のあり方について |

8 議事の内容

発言者	内 容
小林課長	ただいまから令和4年度第1回芳賀町総合教育会議を開会します。開会にあたりまして、見目町長からご挨拶をお願いいたします。
見目町長	<p>皆様こんにちは。教育委員会から引き続きの会議ということで、大変ご苦労様です。</p> <p>学校教育につきましては、令和2年度から令和3年度にかけて1人1台の端末の導入やICT支援員の配置を行いました。今年度からは中学生を対象に「はがまるふるさと大学」を開講します。学年ごとに特色のある取り組みを行っていきたいと思います。また、今日のテーマでもある部活動の地域移行について、どのように移行していけばよいのか、さらには成人式のあり方についても協議をしていただきたいと思いますので、よろしくお祈りを申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。</p>
小林課長	続きまして、議事録署名人の指名を行います。議事録署名人は、芳賀町総合教育会議運営要綱第4条第3項に基づき、町長が指名することになっておりますので、町長から指名をお願いいたします。
見目町長	議事録署名人に沼能委員と塩野委員の2名を指名しますので、よろしくお祈りします。
小林課長	それでは、これより次第4の協議事項に入ります。当会議の議長は、会議運営要綱第3条に基づき、町長にお願いします。
見目町長	それでは協議に入ります。はじめに(1)部活動の地域移行についての件を協議します。事務局に説明させます。
松本指導主事	<p>それでは、部活動の地域移行について私の方から説明をさせていただきます。</p> <p>(資料に基づき説明)</p>
見目町長	それでは皆様からご意見をお聞きしたいと思います。これは課題があつて非常に難しいと思いましたが。休日の部活動は地域でということですが、芳賀町の規模ですと受け入れができる人材や組織をどのようにするのか、令和5年度から移行ということで、早急に方向づけはしていかなければならないと思いますが、いかがでしょうか。
松本指導主事	問題が大きすぎて、結論は出ないと思いますので、疑問に思ったこととお話しいただければと思います。
見目町長	小さい町で指導者指導者がみつかるのだろうかと思いましたが、大きなところは児童生徒数が多いので、いたとしても全部をフォローできるのかというと、それも難しいのかなと思います。

発言者	内 容
黒崎委員	<p>私の息子が中学生の時に柔道をやっていました。私も柔道をやっていたので、私が20代後半から50代まで中学校で一緒にやりました。平日も土日も行きました。当時の顧問の先生は柔道の経験はありませんでしたが、一生懸命勉強して、審判もやって立派に教えていました。町にはもともと柔道教室があって、週2回、夜、小学生と中学生が来ていました。私は中学生を教えていましたが、先生と私が同じ技を教える場合でも、子どもたちが迷わないように、先生と同じような教え方をしていました。先生が平日教えている内容とすり合わせをしながら教えないとだめで、たまに土日だけ指導に来て子どもたちとの信頼関係を築くことができません。柔道は現在、若い人が専門部長を中心に教えていますが、皆さん職業があります。説明にもあったように、学校を巻き込んで一緒にやるのが現実的だと思います。クラブチームのようなやり方もあるかもしれませんが、指導要領では部活動は学校教育の一環だということもありますので、学校と一緒にやっていくような形しかないのかなと思います。</p>
松本指導主事	<p>非常に重要なご意見だと思います。外部指導者を入れた場合の一番大きな問題は先生と教え方が違ってしまうということです。顧問の先生は、その競技の専門ではない場合もありますが、子どもの対応には慣れていきます。競技の専門の方にも、部活動は学校教育の一部だということを踏まえて指導していただくと非常に助かりますが、そうではない場合もあります。</p>
黒崎委員	<p>勝負に勝つ教え方をする人がいます。そうではなくて、今後の成長のために基本を教えないといけないと思います。</p>
松本指導主事	<p>総合型スポーツクラブのようなものを作って指導員を登録したとします。その人たちを手放しで学校に派遣したら、平日は先生、土日は指導者ということになるため、平日と土日の指導が全く違ってしまいう可能性があります。そうならないように、指導者を学校に派遣する前に、学校教育の中の部活動であるということを説明し、ある程度理解してもらわないと指導者を派遣できないのではないかと思います。</p>
見目町長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
山口委員	<p>資金面では人件費のほかには何が必要になりますか。</p>
松本指導主事	<p>競技のための道具などです。現在は生徒会費の中から部活動の備品として購入しているものもあります。それを土日引き継いで使うことができればいいと思いますが、場所が変わると使えないこともあると思います。</p>

発言者	内 容
塩野委員	<p>学校を離れて部活動を運営するということは、費用の面で、子どもにとって負担になる部分もあると思います。生活に困っている子たちに、教育格差が出ないようにしていただきたいと思います。それから、先ほど黒崎委員さんが言われたように、指導者の違いで子どもたちが困らないように準備していただきたいと思います。</p> <p>すでに指導者に声かけなどを行っているのでしょうか。小学校では部活動を学校ではなく父兄がやっていますから、手伝ってくれる人が出てくるのではないかと思います。</p>
松本指導主事	<p>指導者は一人に限らず複数になる場合もあるかもしれませんし、協力を求める必要があるかもしれません。持続可能なものにしていくという観点も必要です。</p>
見目町長	<p>この議題は、この場で答えは出ないと思いますが、今日はどこまで協議しますか。</p>
小林課長	<p>地域移行については令和5年度から令和7年度までの期間で実施することになっておりますので、今後時間をかけて検討していく必要があるかと思います。現時点では皆様の意見等をお聞かせいただいで、今後、考え方に反映できればと考えています。</p>
見目町長	<p>課長からも説明がありましたが、総合教育会議だけではなく、教育委員会や事務局を中心に取り組んでいただければと思います。</p> <p>それでは次の議題に移ります。ふるさと教育についての件を議題とします。ご挨拶の中でも申し上げましたように、新規の事業としてはがまるふるさと大学を実施することになっていきますので、事務局に説明をさせます。</p>
松本指導主事	<p>では、ふるさと教育について説明します。</p> <p>(資料に基づき説明)</p>
見目町長	<p>説明が終わりましたので、ふるさと教育について皆様のご意見を伺いたいと思います。</p>
塩野委員	<p>子どもたちの活動希望が同じ分野に集中してしまったときはどうするのでしょうか。</p>
松本指導主事	<p>現在は、構想の説明をして協力体制を作ったという段階です。具体的に町のどの事業が中学校のどの学年のどの活動と協働するのは決めてはいません。当初、はがまるふるさと大学は、中学校1年生向けの計画でした。もともと1年生は郷土学習がテーマにあるので、1年生をメインに計画しましたが、2年生はマイチャレンジで職業の勉強をしていますし、3年生はSDGsに関連する勉強をしていますか</p>

発言者	内 容
塩野委員	<p>ら、1年生に限定しなくてもいいのかなと思いました。資料は、役場の各課が芳賀町の未来を考えたときに何が必要かを考えて出した案です。それを、どの学年がどのタイミングで活動するか、今学校に考えてもらっているところです。総合的な学習の時間だけではなく、生徒会活動にも関わられるものがあります。できるだけ生徒の興味・関心に合わせて関わらせていくというのが基本的な考え方です。</p> <p>これで学んでいけるのは、子どもたちにとってプラスになると思います。</p>
見目町長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
黒崎委員	<p>コミュニティスクールでも地域との関わりがありますが、この大学との位置関係といたしますか、すみわけを説明してください。</p>
松本指導主事	<p>今の段階では、中学校の総合的な学習の時間に合わせて動いていて、役場と学校が結びついて中学校の総合という時間で共同作業をしているという位置づけです。</p>
黒崎委員	<p>面白い事業だと思います。</p>
松本指導主事	<p>中学1年生の総合でという話から始まりましたが、生徒会の活動も生まれました。始めていくとプラスの意味で想定外のことが起きるので、取り組みながら少しずつ変わっていくものだと思います。コミュニティスクールは教科に限定したのではなく、学校全体に関わることで、立ち位置に関係なく発展していくものだと思います。</p>
見目町長	<p>私は子どもたちに郷土愛を植え付けることが大切だと考えています。教育長にも教育委員会で考えてほしいということを以前から話していました。それがこのような形でスタートすることになりました。1年限りではなくて、やりながら少しずつ変えていってほしいと思います。文部科学省で示しているカリキュラムと同時に、地域の方に協力をいただきながら進めていくことが、これからますます必要なのかなと思います。手探りの部分はあるかと思いますが、しっかりと組み立ててもらったので、創意工夫で取り組んでいけば、良くなっていくと思います。</p>
高津課長	<p>それでは次の協議事項に移ります。成人式のあり方について議題とします。事務局に説明をさせます。</p>
高津課長	<p>成人式のあり方については、生涯学習課から説明します。</p>
見目町長	<p>(資料に基づき説明)</p>
見目町長	<p>皆様からご意見を伺いたいと思います。</p>

発言者	内 容
高津課長	主催が市町と実行委員会での違いは、町長に御挨拶いただく際に、主催が実行委員会の場合は来賓、主催が町の場合は、町長は主催者となります。
山口委員	実行委員はどのような人なのか。
高津課長	その年度の代表者です。中学校卒業の時にクラスで2名ずつ決めています。その代表者たちが集まって実行委員として進めています。
古壕教育長	芳賀中学校同窓会幹事という位置づけです。 これまでの成人式で実行委員は司会と、実行委員長の挨拶をしていました。
見目町長	基本的な考え方として、町として成人者をお祝いするのか、成人者が主体性を持って自覚の場としてはたちの集いを主催するのか、しっかりと議論したほうがいいと思います。
高津課長	担当としては、これまでと同様に町主催でお祝いしたほうが良いと考えています。
山口委員	成人年齢となった18歳の方たちをお祝いしている市町はあるのですか。
高津課長	県内全市町が二十歳になった方をお祝いしています。
見目町長	他にご意見はありますか。
委員全員	(意見なし)
見目町長	協議事項以外に、皆さんからご意見があればお伺いします。
委員全員	(意見なし)
見目町長	無いようですので、本日の協議を終了したいと思います。進行を事務局に戻します。
小林課長	以上を持ちまして令和4年度第1回総合教育会議を閉会させていただきます。慎重にご協議いただき、ありがとうございました。

9 開 会 午後4時45分